

## 編集後記

この度『京都大学生涯教育学・図書館情報学研究』第5号をお届けできることを嬉しく思います。今回は、今年度来日され、講演をいただいた高益民先生とスタンディッシュ先生の論文をそれぞれ掲載させて頂きました。また、第4号に引き続き東京大学名誉教授の宮坂広作先生からの玉稿を賜りました。重ねてお礼を申し上げますとともに、発行が当初の予定から大幅に遅れましたことをお詫び申し上げます。これは担当のものの不手際によるものであり、大いに反省を致しております。

さて、今回初めて本雑誌の編集に当たりました。このような刊行物の編集は学部生であった時に、当時行っていた事業の報告書を作成したことがありましたが、皆さんのすばらしい論文を世に問う機会を作り上げるという責任の重大さをひしひしと感じながらの作業となり、様々な意味で学習の機会となりました。このような機会を与えて頂いた皆様に感謝したいと思います。

今現在、京都大学大学院教育学研究科は、魅力ある大学院教育に向けて大きく動き出しております。その中で、我々生涯教育学講座の教員、大学院生共々、より一層の飛躍を目指して日々頭を悩ましております。来年度の本雑誌において、その一端がお見せ出来ると思っております。今後も本講座に暖かいご支援と厳しいご批判の意見をいただければ幸いです。

2006年 編集担当 倉知典弘